

科目区分・分類	専門・実習	対象学科名・学年	機械4年	科目コード	49111706
科目名	実務訓練 A Internship				
担当教員	北山 光也,羽田 喜昭				
単位数(時間数)	必修 通年 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(G-2)		
授業の目的と概要	企業・機関などにおける実務訓練を通じて、専門分野に関連した業務を積極的に行い、その中より実践的な技術感覚を体験するとともに、技術者として必要な適応力を養う。また企業・機関などでの実習体験から、今後の学生生活での学習意欲の向上と、進路決定の一助とする。				
先修科目					
後修科目					
備考	実習先は、原則として自宅(帰省先)から通勤可能な範囲とする。7月に各自保険に加入するが、期間により費用は異なる。実習期間中に教員が企業訪問し、実習内容を確認の上、指導助言する。				
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	インターンシップ事業1 企業説明会	2	実習受け入れ企業・機関の方に、実習をする上で必要なことなどについて説明していただき、実習テーマと企業選択ができる。		
2	インターンシップ事業2 研修会	4	実務訓練を前に、実務訓練への心構え、事前打ち合わせについて学び、企業・機関の方と打ち合わせできる。		
3	インターンシップ事業3 実務訓練		実習生は、5日以上の実習を行う。実践的な技術感覚を養い、積極的に実習を行うことができる。		
4	インターンシップ事業4 報告会	4	実習の内容や実習で得られたこと、後輩へのアドバイスを中心にまとめて適切な報告書等を作成することができる。また、わかりやすく説明することができる。		
5	学科内での報告会	2	実習の内容や実習で得られたこと、後輩へのアドバイスを中心にまとめて適切な報告書等を作成することができる。また、わかりやすく説明することができる。		
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	実務訓練を通じて専門分野に関連した実践的な業務に携わり、業務の概要を説明できることで学習・教育目標(G-2)の達成とする。				
成績評価	実務訓練先からの実習証明書(40%)、提出された報告書(40%)、報告会の提示資料の内容(20%)の合計100点で(G-2)を評価し、60点以上獲得した者をこの科目の合格者とする。				
教材	参考書：実務訓練の手引				
オフィスアワー	毎週水曜日16:00～17:00、機械工学科棟学科長または学級担任の教員室。				